

主 題 名	楽しい学級をつくろう	教 科 書	p. 38～41
教 材 名	9 えがおいっぱい	指 導 月	7月頃
内 容 項 目	C よりよい学校生活, 集団生活の充実		
ね ら い	あおいのクラスの「えがおいっぱいせんげん」について話し合うことをとおして, 笑顔がいっぱいの学級のよさに気づき, みんなで協力し合って楽しい学級をつくろうとする心情を育てる。		
	児童の学習活動, 発問, 予想される児童の反応	指導上の留意点	
導 入	<p>これまでの自分にとっての学級を考える。</p> <p>○学級が楽しいと思える時は, どんな時でしょう。</p> <p>○今日は, 楽しい学級をつくっていくために, 私たち一人一人がどうすればよいかを考えてみましょう。</p>	<p>*自分にとってある程度の自己実現が図られ, 学級での所属感が充足したときが多い傾向にあることが予想される。</p> <p>*「私たち一人一人」が集団との関わりをどう考えていけばよいのかを明確にする。</p>	
展 開	<p>教材を読んで, 話し合う。</p> <p>○休み時間に, けんかをする男の子たちやこそこそおしゃべりをする女の子たちを見て, あおいはどんなことを思っていたのでしょうか。</p> <p>・どこに笑顔があるの? 初めの頃は, 学級のあちこちで笑顔があったのになあ。</p> <p>◎あおいはどうして, 「『えがおいっぱい』になっていないと思います。」と, 思いきって言うことができたのでしょうか。</p> <p>・前はもっと笑顔があったのに。なんとかしなくちゃ。</p> <p>・学校の生活がおもしろくなっちゃうから, 思いきって言おう。</p> <p>○みんなで話し合っ, 「えがおいっぱいせんげん」ができた時, あおいはどう思ったでしょう。</p> <p>・思いきって言ってよかった。</p> <p>・やっぱりいい学級だな。</p>	<p>*「学級目標は, どんなことを思い, 立てられたのでしょうか。」と補助的に問うことで, 学級集団を考えた発言となることが期待できる。</p> <p>*あおいの発言に学級みんなが「さいしょはびっくりした」とあるように, 集団に関わるような問題となかなか切り出しにくい, あおいはあえて発言したという思いに共感させたい。</p> <p>*学級の多くの子が, 集団生活の充実を望んでいたこと, そのために活動の目標をみんなで作ったこと, 達成の方法を話し合っ, 決めたこと, 協力して取り組むことを全体で話し合っ, 意義を理解させる。</p>	
終 末	<p>自分の学級の様子を考え, 学習のまとめをする。</p> <p>○みなさんのクラスのよいところはどんなところですか。</p> <p>・全員で外遊びができるところ。</p> <p>・掃除が早く, きれいになるまで全員でがんばるところ。</p>	<p>*導入の発問での児童個人としての満足感から, 充実した集団への意識の高まりを確認したい。</p>	
つ な げ る	<p>つなげよう</p> <p>自分たちの学級でも考えてみよう。</p> <p>○自分たちのクラスを「えがおいっぱいのクラス」にするためにはどうすればよいか, 考えてみましょう。</p> <p>・一人一人がよく考えて, 友達のことを思いやる。</p> <p>・自分の考えをしっかりと伝えながら, 行動するときには協力する。</p> <p>・よく話し合っ, 助け合う。</p>	<p>*よりよい学級をつくるためには, 児童一人一人が主体性をもちながら, なにごとにも協力していくことが大切であることを理解させる。</p>	